

福祉教育常任委員会

特定健診事業

※市実施／現行通り、拡大

- 検診率向上のため、市民が気軽に受診できる方法の工夫。
- 例) 会場を増やす、コンビニやイベント会場の活用など。
- 重症化予防のための積極的支援。
- 国の予算的裏付けが必要である。



平成29年度事業費

5,032万4千円

- 集団検診では、市内商業施設を利用した健診や、前年度の結果より、日曜日の受診者が成人健診も含め、受診期間中で最も多い人数であったことから、秋の健診を2回から3回に増やし、日曜日での実施を検討中です。
- 平成20年度特定健診が始まった時は、市内14医療機関でしたが、18医療機関に増え、集団健診よりも個別健診の受診者数が年々増えています。国保特定健診対象者のうち、治療中の人は53%台で、医療機関で情報提供をお願いしています。



学校図書館支援センター推進事業

※市実施／内容・規模見直し

- 「学校図書館図書標準」の達成率を46.1%へ改善。
- 図書購入費の増額。
- 司書の常勤化。
- 教員や児童生徒が操作しやすいシステムへの改善。
- 図書を身近に感じられるような取り組みの拡大。
- 義務教育の一環として、国の交付金事業の活用。

平成29年度事業費

898万5千円

- 現在市内小・中学校13校の中で「学校図書館図書標準」を達成しているのは4校です。達成率の低い学校に手厚く予算を配分するなどの工夫をしています。
- 学校司書の配置は、読書活動の推進に大変有効であり、勤務時間数の増加を図っていきます。
- 学校間のネットワークについては、平成29年度で、改善していきたいと考えています。
- 学校司書が司書教諭や事業者などと連携し、授業支援にも入ることで児童生徒がより図書活動を感じられるようにしていきたいと考えています。

産業経済常任委員会

公園維持管理事業

※市実施／現行通り、拡大

- 都市公園の夏と冬の開園時間は考慮すべき。
- 地域ふれあい公園について、子どもの安全安心をさらに進めるためにも、個別の遊具などの安全を確認できるよう台帳作成と、地域での台帳保管と安全確認が必要である。



平成29年度事業費

3,212万8千円

- 指定管理者との協議で、市の意向を伝えており、今後も組織体制や経費など課題となる事項をクリアできるよう、継続して協議を重ねていきます。
- 遊具の安全点検については、所定の安全点検シートにより点検を行い、写真などと合わせ報告してもらっています。修繕の必要な遊具は、一覧表で提出してもらい、修繕見積もりも徴収しています。優先度や予算状況に合わせ、順次修繕を行っています。

